

生活習慣病の発症・進展に関する研究ツールに!!

Toxic AGEs

受託測定サービス

近年、加齢や糖尿病状態で促進的に生成される終末糖化産物(advanced glycation end-products, AGEs)、なかでも糖代謝中間体のグリセルアルデヒドに由来するAGEs (Glycer-AGEs、後にToxic AGEs [TAGE]と命名)がAGEs受容体(receptor for AGEs、RAGE)を介し、糖尿病血管合併症の発症・進展に強く関わっていることが明らかになっています。

下図のように、血中TAGE量は心血管病、非アルコール性脂肪肝炎(NASH)、がん、不妊症、アルツハイマー病などの多様な疾患と強く関連しており、研究の広がりが報告されています。

また、血中TAGEが生活習慣病の予防、早期診断、治療の有効性を評価する有用なバイオマーカーとしての可能性を秘めていることも提唱されています。

血中 TAGE 量測定と臨床研究の広がり

- 動脈硬化巣の炎症の程度と相関
Diabetes Care 35: 2618 (2012)
- 健常者においても高値群は心血管イベントリスク高い
Cardiovasc. Ther. 30: 249 (2012)
- 血管内皮機能と相関
Diabetes Care 38: 119 (2015)
- 急性心筋梗塞患者のstatin治療で低下
Heart Vessels 31: 1583 (2016)
- 日中の血糖変動がCHDと相関
J. Cardiol. 69: 625 (2017)
- 動脈硬化に対するトリペプチドの効果
J. Atheroscler. Thromb. 24: 530 (2017)
- AD患者脳内にTAGEが蓄積
Acta Neuropathol. 108: 189 (2004)
- 細胞内蓄積でAD様病態変化
Sci. Rep. 5: 13313 (2015)
- 統合失調症患者で値が有意に上昇
Neurosci. Lett. 593: 51 (2015)



- 生殖補助医療における卵胞発育、妊娠成否と相関
Hum. Reprod. 26: 604 (2011)
- 低下した群では継続妊娠率が大幅に増加
JMSA 21: 93 (2015)
- NAFLと比較してNASH患者で有意に高い
J. Gastroenterol. Hepatol. 22: 1112 (2007)
- TAGE減少とともに肝機能改善が見られる
J. Gastroenterol. 45: 750 (2010)
- NASH発症・進展のバイオマーカー
Med. Hypotheses 84: 490 (2015)
- NAFLD/ALDの発症・進展におけるTAGE病因説
Nutrients 9: E634 (2017)
- メラノーマ病変部に蓄積
TAGE-RAGEを抑えると肺転移が抑制され、生存率が上昇
J. Invest. Dermatol. 122: 461 (2004)
- NBNC-HCCでは、NASH単独患者より高値
J. Clin. Lab. Anal. 29: 480 (2015)
- 結腸癌全体では相関なし、直腸癌と正の相関
Cancer Epidemiol. Biomarkers Prev. 24: 1855 (2015)

AGEs測定受託 (研究用)	測定項目	Toxic AGEs (TAGE: glyceraldehyde-derived AGEs)
	必要検体量	凍結保存したヒト血清0.1mL以上
	検体保管期間	測定終了後3か月間
	測定方法	競合ELISA
	測定費用(税別)	¥8,000/1検体

※本サービスは臨床診断薬を用いた受託測定ではありません。研究用としてお役立てください。

お申込み・お問い合わせ

Bloom Technology 株式会社

☎ 096-375-5511 ☎ 096-206-1787

✉ info@bloom-technology.co.jp

本社・研究所

〒860-0812 熊本県熊本市中央区南熊本3丁目14-3
くまもと大学連携インキュベータ

Official Site <http://bloom-technology.co.jp>

検体依頼手順

この度は弊社受託測定サービスをご利用いただき誠にありがとうございます。
弊社受託測定サービスをご利用されるお客様へ、下記にご案内を用意しております。

Toxic AGEs 測定依頼書の各項目を記入し、事前に E-mail または FAX にて送信してください。
お申込の際は以下の点にご注意ください。

- ご自身の検体管理番号は、必ずご記入ください。
- ご依頼件数の多い方は、toxic AGEs 測定依頼書の 2 ページ目をコピーしてご利用ください。

【検体のラベル】

ご自身の検体管理番号（toxic AGEs 測定依頼書に記されたものと一対になるもの）を必ず提出容器に明記してください。

必要に応じて検体採取年月日、検体の種類、検体量、依頼者名、緊急時連絡先等もご記入ください。

【検体の保存容器】

検体の乾燥を防ぐため、スクリュキャップタイプ（容量 0.5 - 1.5 mL）の容器をご使用ください。
ご要望に応じて、採血管や検体保存用のチューブをご用意致します（別途費用）。

【検体の必要量】

検体は 0.1 mL 以上の提出をお願い致します。検体量が 0.1 mL 未満の場合はご相談ください。

【検体の保存】

必ず -20℃以下で凍結保存してください。

【検体の送付方法】

検体チューブの破損を防ぐためチューブをフリーズボックスに収納の上、十分量のドライアイスと共に発泡スチロール製搬送ボックスに梱包してください。

その後、弊社にご発送日を事前連絡の上、弊社営業時間内（平日 9:00 - 17:00）の到着となるよう、冷凍便にてご発送ください。

弊社休業日（土・日・祝日・GW・年末年始等）の到着を避けてください。

お客様の大切な検体の受取を確実にするため、輸送業者名、荷物の追跡番号のご連絡を推奨いたします。

【所要日数】

検体を受領した日を起算日とし、報告書をお手元にお届けするまでの所要日は、7 - 10 営業日を予定しております。

お急ぎの場合は電話もしくは E-mail にてご相談ください。

【検体保管期間】

お預かりした検体は、ご依頼日より3ヶ月間保管し、再検査や追加検査のご要望にお応えしております。
3ヶ月以上の保管をご希望の場合はご相談ください。

なお、保管期間を過ぎた検体につきましては、当社で処分させていただきます。
ご希望がございましたら、返却いたします（別途費用）。

【お問合せ先・発送先】

Bloom Technology 株式会社

〒860-0812 熊本県熊本市中央区南熊本3丁目14-3

Tel:096-375-5511 Fax:096-206-1787

Email:info@bloom-technology.co.jp

Toxic AGEs 測定依頼書

本測定依頼書(太枠内)を記入し、事前に E-mail または FAX にて送信してください。

申込の際は以下の点にご注意ください。

- ・ ご自身の検体管理番号は、必ずご記入ください。
- ・ ご依頼件数の多い方は、測定依頼書の2ページ目をコピーしてご利用ください。
- ・ ご依頼の検体に管理書類がありましたら、そのファイルを E-mail にて送付いただくことも可能です。

検体発送予定日: 年 月 日		当社使用欄	
		依頼 No.:	確認:
貴社名:			
貴部署名:			
ご担当者名:			
ご住所: 〒			
TEL:	FAX:	E-mail:	
ご請求先:			
ご請求先が貴社と異なる場合、ご記入ください。			

◆ご依頼内容 (種類、検体種別は該当のものを選択してください)

1 / ページ

当社使用欄	検体管理番号	種類	検体種別	検体量(ml)
		☐ ヒト ☐ その他()	☐ 血清 ☐ その他()	
		☐ ヒト ☐ その他()	☐ 血清 ☐ その他()	
		☐ ヒト ☐ その他()	☐ 血清 ☐ その他()	
		☐ ヒト ☐ その他()	☐ 血清 ☐ その他()	
		☐ ヒト ☐ その他()	☐ 血清 ☐ その他()	
		☐ ヒト ☐ その他()	☐ 血清 ☐ その他()	
		☐ ヒト ☐ その他()	☐ 血清 ☐ その他()	
		☐ ヒト ☐ その他()	☐ 血清 ☐ その他()	
		☐ ヒト ☐ その他()	☐ 血清 ☐ その他()	
		☐ ヒト ☐ その他()	☐ 血清 ☐ その他()	

◆特記事項 (ご要望等についてご記入ください)

【測定依頼書・検体送付先、お問い合わせ先】 Bloom Technology 株式会社

〒860-0812 熊本県熊本市中央区南熊本 3 丁目 14-3

Tel: 096-375-5511 Fax: 096-206-1787 Email: info@bloom-technology.co.jp

Toxic AGEs 測定依頼書 (つづき)

[illegible]